

2024 年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研 究（本年度のみ）

ふりがな	かたやま やすひこ		職 位	特別任用 常勤講師	学 位	修士 (言語教育情報)
教員氏名	片山 康彦					
アルファベット表記	Katayama Yasuhiko					
専門分野		英語教育学				
研究課題	テーマ	短大における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合				
	概要	AI 等を活用した外国語学習方略(Learn how to learn)の育成				
本年度 研究業績	研究費	総額：200,000 円 内訳：個人研究費 100,000 円 / 科学研究費 円 そ の 他 100,000 円（みらい授業研究費）				
	研究テーマ	スキマ時間を活用した AI（含アプリ）による英語学習の実践研究				
	経過と到達点	継続研究 3 年目を終え、生成 AI の活用研究段階に至っている				

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等					
⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請				

2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習	TOEIC500、TOEIC600、TOEIC800 英語リスニング特講 総合基礎英語	TOEIC500、TOEIC600 キャリア・イングリッシュⅠ、 編入対策英語Ⅰ 英語フォローアップ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 専門的な見地からのアドバイスを増やし、学生の「知識」から「知恵」への移行を 促進する工夫を継続している。		
	◆ 演習科目 学生の実態に応じて、講義中だけでなく、講義外でも継続的に学習ができるよう面 談(前期考査終了後および後期考査終了後にも期間を設定)を実施し、個別のアド バイスも併用しながら、自立学習支援に努めた。		
	実習科目		
	◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。)		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

ここ数年入学生の英語力が概して低下しつつある中、編入希望者の中で英語の一般試験を必要としている学生の数は横ばいもしくは増加している現状がある。それを鑑み、1年後期の編入対策英語Ⅰに加え、次年度は2年前期に編入対策英語Ⅱ（ここ数年は不開講）を復活させることで、進路希望の実現に寄与できるようカリキュラムの変更をしていただいた。

同様の主旨より、TOEICについては、次年度よりこれまで1年後期に実施していたTOEIC500（1年前期に進路の関係で新たにTOEICが必要となった学生向け）を夏期集中講座へと移行することで、手遅れになることなく1年後期のTOEIC600へと進み、TOEICの対策ができるように変更していただいた。